

# クリエイトまち塾 成果発表会

## 地域資源とまちづくり ～みなとまち・青森の未来を考える～

クリエイトまち塾の面白さは、  
自らのアイデアを最大限に活かしながら、みんなでつくり上げること。

クリエイトまち塾では、  
高校生が商店街や地元の方々と共にまちの未来を考え、実際に行動してきました。

企画を考えるだけでなく、実践することで、  
課題解決力やリーダーシップを身につけることができます。

本イベントは学校での探究活動や、大学の総合型選抜のヒントが得られる内容です。



日時

事前申込制（途中入退場自由）

2026年3月14日（土） 13:00～17:30  
（開場 12:50）

会場

ねぶたの家ワ・ラッセ 2階 イベントホール

## ごあいさつ

理事長 久保田 圭祐

「クリエイトまち塾」は、まちづくりを通じて学び合う場として、高校生とともに活動を続けてきました。探究学習が広く行われる以前から、地域と関わりながら考え、行動する学びの場をつくりたいという思いで取り組んできた活動です。これまで多くの講師や地域の皆さまに支えられながら、高校生たちは地域の課題や可能性について考え、実践を重ねてきました。

今年度は「地域資源を活かした商店街活性化」をテーマに、講義やフィールドワーク、商店街での活動を通じて学びを深めてきました。まちづくりには決まった答えがあるわけではありません。だからこそ、自ら考え、仲間と議論し、地域と向き合いながら試行錯誤を重ねる過程そのものが大切な学びになります。

本日は、この一年の活動を通じて高校生たちが見つけた地域の可能性や提案を発表します。未来を担う世代がどのような視点でまちを捉え、どのようなアイデアを描いたのか、ぜひご注目ください。

【問い合わせ先】

クリエイトまち塾 運営事務局  
（青森市新町商店街振興組合内）

〒030-0801 青森県青森市新町1丁目13-7 和田ビル2階  
メール office@aocre.com TEL 017-775-4134

主催  
共催  
特別協力  
後援

特定非営利活動法人あおもりみなとクラブ  
特定非営利活動法人あおもり若者プロジェクト クリエイト  
船の科学館「海の学びミュージアムサポート」  
青森市、青森市教育委員会



# タイムスケジュール

## 13:00 キーノートセッション

クリエイトまち塾の概要や一年間の取組、企画提案の課題テーマについて、ご説明いたします。

スピーカー 久保田 圭祐 (当法人理事長)

## 13:15 企画提案発表

ホームルームごとに、クリエイトまち塾の一年間の活動報告を交え、「地域資源を活かした商店街活性化」をテーマとしたまちづくりの企画提案を行います。

審査員 榎引 素夫 (青森大学社会学部教授)  
横山 英大 (青森市副市長)  
佐々木 秀之 (公立宮城大学事業構想学群教授)  
工藤 健 (NPO法人ジュニアグローバルトレーニングスクール顧問)  
沼上 文音 (クリエイトまち塾OG、青森県立保健大学健康科学部4年)

## 15:00 パネルディスカッション 地域資源とまちづくり

宮城大学で「地域資源論」の教鞭をとる佐々木秀之教授(地域経済学、日本経済史、ソーシャルビジネス、コミュニティデザイン)の基調講演の後、クリエイトまち塾の卒業生でもある宮城大学の学生とのパネルディスカッションを通じて、地域資源とまちづくりの関連性や、ひいてはクリエイトまち塾で得られる学びについて考えます。

### 【基調講演】

登壇者 佐々木 秀之 (公立宮城大学事業構想学群教授)

### 【パネルディスカッション】

モデレーター 佐々木 秀之 (公立宮城大学事業構想学群教授)

パネリスト 棟方 夢生 (クリエイトまち塾OG、公立宮城大学事業構想学群事業プランニング学類1年)

関田 日菜子 (クリエイトまち塾OG、公立宮城大学事業構想学群地域創生学類1年)

## 16:30 フィードバック

審査員からホームルームごとに、質疑応答も交えながら企画提案に対するフィードバックを行います。

## 17:15 結果発表・クロージング

今年度のクリエイトまち塾に対する総評と、企画提案発表の審査結果発表を行い、最も優れた提案のホームルームにクリエイトアワード(市長賞・市教育長賞)を贈呈します。

## クリエイトまち塾について

クリエイトまち塾とは、商店街をフィールドに1年間にわたりまちづくりの実践を重ね、自らの学びにつなげていく学びのプログラムです。これまで11年間で延べ250人以上の高校生が参加してきた実績ある活動です。

### 商店街を学校に見立てたしくみ

クリエイトまち塾の最大の特徴は、活動のフィールドである商店街を「学校」に見立てていることです。具体的には参加者を5~6名程度のグループ分け。これを「クラス」と呼んでいます。クラスでは1年間かけて、まちづくりの企画を検討・実行します。

クラスには、「担任」として、まちづくりに知見のある店主や経営者などを配置し、皆さんの活動を支援するほか、参加者に近い世代である大学生が「副担任」として活動のサポートをします。

### 実践とレクチャーの2本柱

クリエイトまち塾は、「ボランティア活動」ではなく「学びのプログラム」です。単にボランティアとして自分の時間と労力を提供するのではなく、実践での経験を整理する場として、毎月行う「コアプログラム」の中で様々な講師によるレクチャーを実施しています。

レクチャーの中で、自分の実践がリンクし、学びに昇華する体験が、クリエイトまち塾ではできます。



#### 担任…相談役

- ・商店街の店主
- ・百貨店の社員
- ・まちづくりの実践者

#### 副担任…伴走役

- ・市内大学生
- ・若手社会人



#### 高校生

→1クラスあたり5名~6名



## 地域資源を活かした商店街活性化

地域に根差した商店街は単に商品が売られているだけでなく、その地域の歴史、文化にも関連性が高く、古くから人々が集ってきたという歴史的背景のほか、商店街の個店では、地域に根差した食材・工芸品・土産物なども販売されていることから、地域資源が集まりうるエリアと捉えることが可能です。

地域資源は新たになにかを作り出すことではなく、普段の視点と角度を変えて、従来見落としていた「もの」「こと」を捉えなおし、その価値を再定義することにあります。地域資源を活かすことで、その地域ならではの魅力を発揮したまちづくりができます。

クラス	タイトル	メンバー	担任・副担任
1組	<b>STUDY BASE</b> ～学生のための学習スペース提供～	古川 武矢（青森東3年）、奈良 和奏（青森南3年）、高橋 ひな（青森南2年）、東 美聡（青森2年）、太田 七碧（青森南2年）、木明 鼓太郎（青森北2年）、一戸 温心（青森西1年）、葛谷 瑠里（青森東1年）	中村 公一 （広告業：クロックアップ代表取締役）、齋藤 華（青森中央学院大2年）
2組	<b>高校生、商店街に集まれ！</b>	鳴海 蒼空（青森中央3年）、川村 優萌（青森南3年）、菅原 衣空（青森南3年）、五日市 煌桜（青森北2年）、水谷 仁美（青森西2年）、柴崎 結衣（青森東2年）、工藤 和香（青森東2年）、笹渡 真衣（青森1年）	嶋中 靖朋 （企画家：創創舎 代表）、石岡 杏望（青森県立保健大1年）
3組	<b>回す、その先でまちが動く</b>	東谷 希美（青森工業3年）、佐々木 鈴夏（青森南3年）、工藤 ケンゾウ（青森2年）、櫻田 結衣（明の星2年）、成田 正行（青森北2年）、三浦 好香（青森南2年）、澤口 卯月（青森東1年）	工藤 一颯 （駅ビル業：J R東日本青森商業開発社員）、井ヶ田 堅斗（青森公立大4年）
4組	<b>青森の光と伝統</b> 「高校生の感性×伝統工芸品」	我満 梨沙（青森南3年）、長内 俊葵（青森西3年）、野澤 結愛（青森北2年）、辻村 柚菜（青森工業2年）、佐藤 安純（青森東2年）、佐々木 颯大（青森商業2年）、越膳 来海（青森東1年）、横山 翔子（青森南1年）	青木 加乃子 （手芸用品店：ナンデモヤ店主）、柳田 夢奈（青森中央学院大2年）

※発表時間は各20分間。発表順はくじ引きにより決定していて、2組・4組・3組・1組の順番となります。

### （審査方法）

審査基準に従い審査員による審査を行い、審査員の得点を合算・合議により最優秀企画提案を決定します。審査員1人あたりの持ち点は100点とし、各審査員の平均点をクラスの得点とします。

企画提案内容の得点に、クラスごとのまち塾への姿勢を加味（無断欠席等の回数やレポートの提出枚数をもとに算定されるクラス評価に基づいた傾斜配点）して最も優秀なクラスに対してクリエイトアワード2025（青森市長賞・青森市教育長賞）を授与します。

項目	審査観点
課題の設定、原因の特定（20点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標や調査結果も活用するなど、対象地域・対象組織の課題や特性について適切に理解しているか。</li> <li>企画提案の内容や前提知識について偏向はないか。</li> <li>提案理由・背景に説得力はあるか。</li> <li>「地域資源を活用した商店街活性化」という今年度のテーマを的確に捉えた課題設定となっているか。</li> </ul>
解決策（仮説）、効果（30点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>青森市中心市街地の資源を効果的に活かした提案であるか。</li> <li>論理性があり、提示する課題の解決に資する提案か。</li> <li>スケジュールなど提案の実現の可能性および具体性はあるか。</li> <li>予算の積算は妥当かつ現実的か（補助金収入として最大30万円を計上可能）。</li> <li>イベントや事業の実施で完結しない、課題解決に有効かつ持続可能な仕組みの構築につながる提案か。</li> <li>施策実施による期待される成果について、具体的かつ適切に示されているか。</li> <li>多様な主体と共に取り組むことで創発が生まれ、社会の新しい価値の提案や創造につながる事が期待できる提案か。</li> </ul>
実践内容（25点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案する企画・事業のプロトタイプをつくって実践を行っているか。その実践内容は充実したものであるか。</li> <li>クリエイトまち塾の登場人物以外の多様なステークホルダーを巻き込んだ取り組みになっているか。</li> <li>実践内容を適切に総括し、提案企画や今後の取組に反映しているか。</li> <li>プロトタイプの実践が根拠として成立するか。</li> </ul>
発表全体の説得力（25点）	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真や図、グラフ、イラスト・模型・シミュレーターなど提案内容を容易に理解できる工夫があるか。</li> <li>メッセージ性がある提案であるか。</li> <li>発表の構成・見栄はどうか（分かりやすい内容か）</li> </ul>

来場者アンケートにご協力ください！

次年度以降の運営に向けて、オンラインのアンケートにご協力をお願いいたします。

右のQRコードからアクセスいただけます。



### サポーター会員・企業協賛のご案内

クリエイトの活動を発展させていく基盤として、年額5,000円から気軽にご支援いただけるサポーター制度を設けています。ぜひご登録いただき、活動の推進にご協力をお願いいたします。なお、お預かりする年会費は全額を高校生の社会教育プログラム「クリエイトまち塾」の運営資金など、活動支援に充てています。

詳しくは右のQRコードからアクセスください。



# クリエイトまち塾2025のあゆみ

6月

青森市中心商店街を学ぼう  
**青森市中心商店街の挑戦**

講師 伊香 佳子 (青森市中心商店街女性部 事務局長)

7月

まちづくりにおける主体性を学ぼう  
**「わたし」発のまちづくり**

講師 川中大輔 (関西学院大学人間福祉学部 専任講師)

8月

他の地域のまちづくりから学ぼう (弘前市フィールドスタディ)  
**弘前市のまちづくりの展望**

講師 長内 遼太郎 (一般社団法人OSKINy 代表理事)

**まちの学校「HLS弘前」**

講師 佐藤 綾哉 (HLS弘前 代表)

9月

地域資源の活用方法を考えよう  
**青森の地域資源の活用～イベントの企画に着眼して～**

講師 高樋 忍 (青森港暮らしのマルシェ実行委員会 実行委員長)

10月

問いを立てる力を学ぼう  
**“問いを立てる”**

講師 榎引 素夫 (青森大学社会学部 教授)

11月

地域課題を価値に変える方法を学ぼう  
**“すべてが循環する”** エシカル合成皮革RINGO-TEX®を通じて  
産学官農連携による社会課題の解決と地球環境への貢献

講師 藤巻 圭 (apccycle株式会社 代表取締役社長)

12月

クリエイトまち塾での学びの活かし方を考えよう  
**地域課題解決・実践プロジェクトの事例**

講師 高坂 幹 (公立大学法人青森公立大学 理事長)

1月

戦略的なプレゼンをつくろう  
**最強の戦略プレゼンにしよう 今すぐできる3つのこと**

講師 山口 章 (株式会社DRAGON AGENCY 青森支社長)

2月

地域資源で世界に羽ばたく  
**青森から世界へ 持続的な産業を地域とともに**

講師 森 聡二 (株式会社オカムラ食品工業 コーポレートコミュニケーション室長)

3月

1年間の学びを振り、地域に発信しよう  
**クリエイトまち塾概論**

講師 久保田 圭祐 (あおり若者プロジェクト クリエイト 理事長)



## スタッフリスト

コーディネーター  
ディレクター

久保田 圭祐 (総務省職員、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任講師)  
西堀 希 (青森県職員)

森 慎太郎 (株式会社ユニバース)  
井ヶ田 堅斗 (青森公立大学経営経済学部4年)  
沼上文音 (青森県立保健大学健康科学部4年)  
小笠原 一真 (社会人)

プランナー (企画・運営)

渡邊 心一 (RicotoS)  
一戸 啓夢 (青森中央学院大学経営法学部2年)

プランナー (副担任)

齋藤 翼 (青森大学ソフトウェア情報学部1年)

齋藤 華 (青森中央学院大学経営法学部2年)

石岡 杏望 (青森県立保健大学健康科学部1年)

柳田 夢奈 (青森中央学院大学経営法学部2年)

成果発表会スタッフ

関田 日菜子、平尾 那智、棟方 夢生、風晴 翔太

